

令和3年5月1日発行

医療法人創起会くまもと森都総合病院外来広報誌について

- ・当院では、広報活動のひとつとして外来などに来院された患者さん、ご家族の皆様幅広く当院の情報や医療の情報などについてお知らせするため、本誌を発刊いたしております。
- お気軽にお取りいただき、御拝読いただければと考えております。



今月号では、当院の視能訓練士が従事する業務についてのご紹介いたします。

目の働きと構造

目の働き

普段、私たちは、外界からの情報は五感（視覚、聴覚、味覚、嗅覚、触覚）を活用して入手しています。

近年では、情報の約90%以上を視覚に依存すると考えられています。



皆さん、両手で目をふさいでみて下さい！

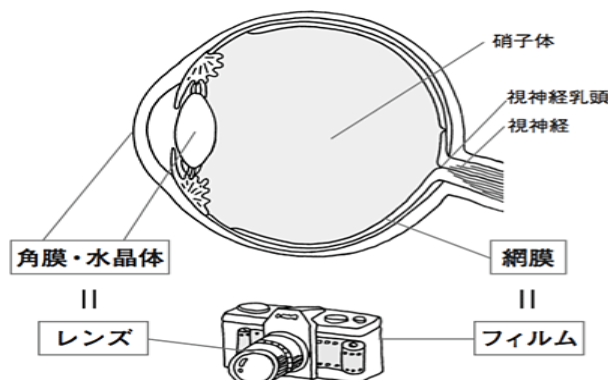
外界からの情報の90%を遮断し、残りの10%を使用しての情報収集はどうでしょうか？真っ暗の中で、視覚以外を用いての情報収集はいかに困難で恐怖を感じるか理解できると思います。

目の大きさ 新生児：直径17mm、成人：24mm

目の重さ 約7.5g（500円硬貨の重さ7g）
両眼合わせても全体重の0.025%を占めるに過ぎない小さな器官です。

目の構造 目はカメラと構造が似ていて、角膜・水晶体はレンズに、網膜はフィルムにたとえられます（図1）。外界からの光は、角膜と水晶体を通過して硝子体を通過し、網膜に像を結びます。さらにその像は視神経により脳に伝わり、ものを見ることが出来ます。また、眼球は2つあり、両目からの情報が的確に入るように、常に両目で直視できる眼球を動かすシステムをもっています。

図1 目の構造



私たちは、一生を通して「見る」という行為で眼球を酷使しています。見える機能は眼球の様々な機能が組み合わさり、この機能を維持するために眼球は精密に作られた器官といえます。

主な目の病気

白内障 目の中のレンズにあたる水晶体が濁る病気です。濁ったレンズを通してものを見るので、見にくくなります。白内障の原因の多くは加齢によるもので、老人性（加齢性）白内障といわれます。白内障患者の7割を老人性白内障が占めますが、先天性や外傷性、アトピーや糖尿病などにより引き起こされるものもあります。治療は濁った水晶体を取り出し、人工のレンズを目の中に入れます。

緑内障 本来、眼圧が高くなることにより、視神経に異常が起こり視力や視野（見える範囲）が障害される病気です。しかし、眼圧が正常範囲内の人でも緑内障が起こることがあり正常眼圧緑内障と呼ばれています。わが国で行なわれた疫学調査の結果、40歳以上の有病率は5.0%、20人1人が緑内障といわれています。ほとんどの場合、症状が進行するまで自覚症状がないため、様々な検査（眼圧・視力・眼底・視野）により緑内障と初めて診断されます。治療は、眼圧を下げ視神経の障害を防ぎ、視野障害の進行を抑えるために点眼療法、レーザー療法や手術があります。

加齢黄斑変性症 年齢や光障害、喫煙や食事などにより、視力に關与する網膜の中心部に位置する、直径1.5mm～2mmほどの小さい組織である黄斑に老廃物や新生血管を生じ見え方が悪くなる（視野の中心部が波打つように歪んで見えたり、かすんで見える）病気です。有病率は50歳以上の約1.3%とされ、年々増加する傾向にあります。治療は病気の型により異なりますが、薬物療法（硝子体注射）、光線力学的療法やレーザー治療があります。

目の健康を守る定期検査の重要性 中高年になると、様々なトラブルが起こってきます。そのままにしておくと視力が障害され、最悪の場合は失明という事態になりかねません。40歳を過ぎたら眼科専門医による定期検査を受け、目の健康チェックを行ないましょう。

当院の基本理念と基本方針について

当院の基本理念及び基本方針を掲げて良質で安全な医療を提供しています。

（基本理念）

私たち くまもと森都総合病院は、質の高い医療を通じて 地域に愛され、親しまれる病院を目指します。

（基本方針）

患者さんとの良好なパートナーシップを築き、満足度の高い、心かよう医療の提供に努めます。

地域医療機関との連携を密にし、地域に根ざした医療サービスを推進します。

優れた医療人を育成し、安全で質の高い医療を提供します。

